

紙すき名人になろう

小出特別支援学校 高等部 エコクラフト班
三浦雅人 佐藤彩子 大出真水子
木村尚裕 遣水麻美 山本めぐみ

生徒の実態

<目的が不明確>
何のために紙製品を作るの？



<受け身・消極的態度>
分からないところは先生が教えてくれるから待ってしよう。

目指す姿

目的意識や相手意識をもって
意欲的に製品作りに取り組む。

能動的に自分の力を発揮して製品を作ることができる。

手立て

意欲を高めるために…

自分の力でできるために…

Step 1 相手意識の明確化

- ・交流校へのプレゼントの設定
- ・相手校生徒の写真の掲示

Step 1 質の高い完成品の確認

- ・見本となる製品の提示

Step 2 課題と目標の明確化

- ・紙すき検定の実施
- ・課題の確認
- ・意欲の喚起と質の向上

Step 2 工程の分析と指導マニュアルの作成

- ・手本の提示
- ・手順表やタブレットによる視覚支援
- ・失敗したときの対応

Step 3 客観的な自己評価

- ・動画での確認
- ・検定による自己評価
- ・課題の可視化

Step 3 次回に向けての課題の把握

- ・見本との比較(教師とともに)
- ・改善策

成果

- 掲示してある交流校の生徒の写真を見て、この人に渡したいと指し示す姿があった。
- 自分の課題を把握し、次回にいかそうとした。

- よりよい質の製品を作るには、どうすればよいのかを考えて取り組むことができた。
- 製品の質について見分けることができた。

完成した紙が少し薄かったので、次は気を付けよう。



紙の端の部分がきれいにならなかった！やり直してもっときれいに作りたい！！

紙と(プラ板の間)に空気を入れずにはがせた！

課題

- どの生徒も作成できる支援具の工夫と改善
- 検定票の可否判断についての工夫
- 物作りの技を極める研修会